

鳥取大学医学部医学科【コンピテンシ・コンピテンシー】

コンピテンシ (能力と技能)		コンピテンシー (「コンピテンシー (能力)」とは、単なる知識や技能だけではなく、技能や態度を含む様々な心理的・社会的なリソースを活用して、特定の文脈の中で複雑な要求 (課題) に対応することができる力。)
I 倫理・プロフェッショナリズム	<ul style="list-style-type: none"> 責任ある医療を実践するための倫理観を持ち、それに基づいて行動できる。 患者の利益を重視する患者中心の医療を習得し、実践できる。 生涯にわたり自己研鑽して高い医療水準と誠実さを持ち続けるために、内発的動機による自己学習能力を持ち、応用できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 医の倫理および生命倫理を理解して、適切に行動または判断できる。 2 利益相反等、研究倫理に関わる問題を理解して、適切に行動または判断できる。 3 患者や家族のプライバシーに配慮し、守秘義務を厳守することができる。 4 患者中心の医療について理解し、実践できる。 5 内発的動機の重要性を理解して自己学習し、医療の知識、技能、態度を維持向上することができる。 6 社会的に求められる医師像について討論し、目指す医師像を明確にすることができる。 7 社会的使命を果たすため、信頼できる行動をとることができる。 8 患者や家族にはさまざまな価値観があることを認識し、受け容れることができる。 9 同僚や後輩との間で、診療に関する知識や技能を教えあって共有できる。 10 様々なキャリアの医師と交流して、主体的に自らのキャリアについて考えることができる。
II コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 思いやりの心や共感の理解力といったヒューマンコミュニケーション能力を実践的に習得して、医療現場等で応用できる。 障害者とコミュニケーションしたり、地域フィールドの中でコミュニケーションしたりする能力を実践的に習得して、医療現場等で応用できる。 情報社会を理解して、安全かつ有効に情報ネットワークを活用できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 患者や患者家族とコミュニケーションを通じて、良好な関係を築くことができる。 2 医療チームのメンバーとコミュニケーションを通じて、連携を図ることができる。 3 聴覚障害者などの障害者と手話等でコミュニケーションをとって、円滑な診療をサポートすることができる。 4 地域フィールドの中で、地域住民、行政関係者、医療関係者らとコミュニケーションをとり、社会性を身につけ良好な関係を築くことができる。 5 安全かつ有効に情報ネットワークを活用してコミュニケーションを取ったり、情報を収集したりできる。
III チーム医療	<ul style="list-style-type: none"> 他の医療従事者の役割を理解し、連携してチーム医療を行う能力とともに、医師としてリーダーシップを発揮してチームビルディングする能力を習得する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療チームの中で役割を持ち、適切に相談・報告・連絡を行うことができる。 2 他の医療専門職を目指す学生と交流し、それぞれに異なる価値観があることを認識し、受け容れることができる。 3 他の医療専門職との連携を実践できる。
IV 医学の知識	<ul style="list-style-type: none"> 最新の基礎科学、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を習得して、応用できる。 医療安全の基礎を学び、予防と対策を講じることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 物理学・化学・生物学の知識を人体の構造や機能の理解に応用できる。 2 人体の正常構造と機能や生命現象に関する知識を習得して、病態の理解に応用できる。 3 人体に関する正常および病態の知識を診断・治療に応用できる。 4 診療に関わる基本的知識と技能を習得して、臨床実習に実践・応用できる。 5 ガイドラインや論文の情報を活用して、科学的根拠に基づく医療 (EBM) を実践できる。 6 疫学、予防、保健、福祉、医療経済といった医療の社会性に関する知識を習得して、地域で応用できる。 7 医療安全の知識を習得して、患者や医療従事者に起こる医療上の事故及び医療関連感染症を防ぐことができる。
V 診療の実践	<ul style="list-style-type: none"> 診療に必要な症候・病態について理解するとともに、基本的な診療知識と診療技能を用いて医療面接および身体診察を行い、得られた情報をもとに臨床診断を行い、治療計画を立案することができる。 総合的診療および全人的医療の能力を習得し、実践できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 早期から医療従事者としてのモチベーションを高めて実践的に示すことができる。 2 適切な医療面接で患者の病歴を正しく聴取して整理できる。 3 身体診察を適切に行って全身状態や身体各部の所見をとり、病状を判断できる。 4 病歴や身体診察の結果から必要な検査を選択し、検査結果を解釈できる。 5 病歴、診察所見、検査結果等の情報を整理して臨床推論を行い、疾患を診断することができる。 6 適切な治療計画を立案することができる。 7 診療録や医療文書を適切に作成できる。 8 病状説明や患者教育に参加できる。 9 カンファレンスなどで臨床実習の成果を発表、討議できる。
VI 知的探究と創造性	<ul style="list-style-type: none"> 常に知的探究心を持ち、基礎と臨床の連携で涵養されるリサーチマインドを身につけるとともに、実践的に医学研究に応用できる。 イノベーションの重要性を理解して、実践できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 医学・科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、重要性を理解できる。 2 医学的・科学的に意義のある研究課題を見出し、研究に取り組むことができる。 3 データを解析し、論理的に発表・討論してプレゼンテーションできる。 4 臨床的に意義のある研究課題を見出し、トランスレーショナルリサーチの可能性について探索できる。 5 創造性豊かな医療人となる基礎を身につけて、診療や医学研究に応用できる。 6 医療における発明の重要性を理解して、イノベーションを実践できる。
VII 国際性	<ul style="list-style-type: none"> グローバル化に対応できる語学能力と国際感覚を身につけて、応用できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 英語を母国語とする人と対話ができる。 2 国際的な視点で医学研究の情報を収集し、議論して発信できる。 3 診療英会話を習得して、実践できる。 4 国際交流に関心を持ち、多様な異文化を理解できる。
VIII 地域医療	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会を大切に思い、地域における医療のニーズを認識したうえで、地域医療に貢献できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域住民の健康状態には、家族、地域社会、文化などの社会環境が関与していることを理解できる。 2 地域医療に必要なプライマリケアの考え方と技能を習得し、基礎的事項を実践できる。 3 地域や地域で暮らす人を尊重し、コミュニティーと連携して地域医療の向上に貢献できる。

凡例	高度 Advanced	A	医師と同等のレベルであること
	応用 Applied	B	スチューデントドクター相当の医学生として模擬的に関与、行動できる
	基盤 Basic	C	基盤となる能力を習得していること
		D	基盤となる知識を習得していること
		E	経験・習得する機会はあるが、単位認定に関係ない
		F	経験・習得する機会がない